

はまなす

〒098-1601 興部町字興部元町 電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672
年間主題 「 愛し合う元気な仲間（ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう） 」

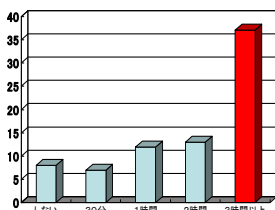
9月聖句

『 人を分け隔てしてはなりません。』(新約聖書ヤコブの手紙 2章 18節) 讃美歌：ロケットにのって

<巻頭言> ゲームの嗜好性 子ども部屋に侵入した麻薬と同じ 小山哲夫

夏休み中、はこぶねハウスの子供達と遊びながら色々な話をしました。子供達の話に耳を傾けると、小学生・幼児を問わず、かなりの頻度でゲームやYOUTUBEの話が出ていました。毎年のように紙を丸めて作っている「2021ハコブネなつやすみゲーム(ロールプレイゲームの原型のようなもの?)」ですが、数年前までは、ほとんどの子が順番を競って遊んでましたが、この夏休みは数人しか興味を示しませんでした。やっぱりリアルなゲームで遊び慣れているからでしょうか、自分で作る楽しさやイメージを膨らませて遊ぶ楽しさが失われている?と考えさせられました。

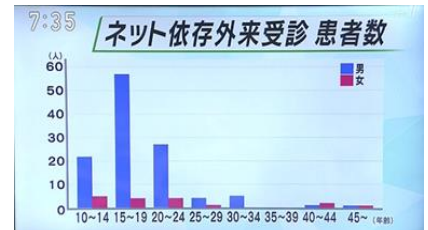
低学年ゲーム時間と衝動性



幼稚園の夏休み明けにも、「夏休みの楽しかった事は?」と聞くと、やっぱり残念ながら、かなりの子供達が「ゲーム」と答えてました。さらに、YOUTUBEの視聴も以前より増えているように実感しています。特に驚いたのは、自分専用の端末を持っている子供も複数確認できたことです。

2015年頃からゲーム依存の恐ろしさを子供達に直接話す機会が減っています。30数年前から必死に「ゲームの恐ろしさ」を伝え続け、警鐘を鳴らしてきましたが、時代が変わるごとに、ゲーム機が携帯・ipod等ネット社会に変貌し、ゲーム・オンラインが当たり前の社会になりました。ゲーム等が乳幼児に与える影響の恐ろしさの話は、次第に反応が少なくなり、話す機会も減ってしまいました。

しかし、警鐘を鳴らさなくて良い社会になった訳ではありません。最近も意味不明、動機不明な無差別殺傷事件等が次々と報道され、感覚がマヒして恐ろしい犯罪に慣れてしまったような気がします。最近では「新幹線の牛刀殺傷事件」「硫酸を浴びせた事件」、自己中心的思考と人間性が欠如している犯人の心情を想うと心が震える思いです。



何故、このような事件が頻発するのでしょうか?、この傾向は日本だけではなく、ネット社会が進化発展するにつれて世界各地で悲惨な事件が頻発しています。米国などの銃乱射事件、ネット社会が進んでいる韓国では若者のネット依存やゲーム依存が大きな社会問題となっています。ネット通信速度が5G→6Gと飛躍的に向上し、映像は一層リアルな3D映像へと手で触ったような感覚まで再現するものになるでしょう。つまり、世界中がネットで繋がり、現実とネット社会の区別ができない状況が目前に迫っています。勿論、ネット社会の進歩は、遠隔手術や自動交通システム、ネット会議・在宅勤務などで、より快適な社会を実現させ、働き方や生活を一変するでしょう。まさに、子供の頃に「鉄腕アトム」で見ていたアニメの社会が現実になるのです。

**ゲームの嗜好性
子ども部屋に侵入した
麻薬と同じ**

ここで問題となるのが「ゲーム・ネット依存」です。タイトルにあるように、バーチャル戦車を操作するゲームを30分間した後の脳には、敵を倒して攻略した達成感等でドーパミン(ホルモン)が大量に出ます。このドーパミン量がスピード等の覚せい剤を使用した時とほぼ同量であると分析されています。ドーパミンはとても大切なホルモンです。例えば、一生懸命野球の練習をして試合でヒットを打った時の「やったー!」という達成感を感じさせるものです。喜びを感じたり、向上心を培う基礎となるホルモンです。しかし、その分泌が心身の鍛錬などを伴って得られることが大切で、ゲームのようにボタン操作で簡単に手に入ると、努力せずに快楽を求める常習性に直結します。これが、「ゲームが止められない」「ネット利用を止められない」最大の理由です。

発達障害児の療育では、「目を合わせた優しいスキンシップ」「会話が大切=言葉のシャワー(単語ではない)」「相手とリズムを合わせる手遊び・絵本」「すぐ褒める、3秒待つ冷静に叱る」等、どれもバーチャルでは得られない経験の積み重ねが重要であるとされています。子どもを急かさず抱きしめて、自然な笑顔が生まれる接し方が大切です。そして、**子育てをゲーム・テレビに任せず、子どもと心を繋ぐ「10秒の愛」**を大切にしてください。その積み重ねが新たな時代の主役として幸せに生きる未来へ繋がります。子育て・ゲーム等の遊ばせ方を見直しましょう。



< 9月の行事予定 >

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 1日(水) 北海道シェイクアウト(災害訓練) 参加 | 20日(月) 休日 敬老の日 |
| 2日(木) 幼児体操教室(公民館) | 21日(火) 避難訓練・消火訓練 |
| 4日(土) 土曜休園 | 23日(木) 休日 秋分の日 |
| 7日(火) 秋の遠足(園児・教師) | 24日(金) 9月お誕生会 手作りうどん |
| 11日(土) 土曜休園 | 25日(土) 土曜休園 |
| 16日(木) いもほり体験(幼稚園畑) | 27日(月) 収穫感謝週間 ~10/1 |
| 18日(土) 土曜休園 | 30日(木) 月末統計 |

<お知らせ>

1、北海道シェイクアウト(災害訓練) 参加します。

9/1 に地震防災訓練に参加します。

防災関連の専門家は「まず低く、頭を守り、動かない」ことが、地震による被害を減らすためのもっとも適切な行動だということと一致しています。



2、幼児体操教室(公民館) 2日(木)

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中の為、今回は保育参観はできません。ご了承ください。



3、秋探し遠足(園児のみ) 9月7日(火)

秋探しの遠足(園児のみ) をします。(詳細は別紙で確認して下さい)

4、9月お誕生会 9月24日(金) 園児と教師で作る手作りうどん

9月は園児が小麦粉をこねて製麺したうどんを食べます。デザート類を持たせて下さい。アレルギー他がある場合は担任に連絡して下さい。



5、鱒の採卵 今年は鱒遡上が少ないため、採卵体験は中止となります。

例年、沙留漁業組合のご協力により、鱒の採卵受精体験を継続してきましたが、今年は鱒の遡上数が極端に少なく、残念ですが採卵・受精体験はできなくなりました。園児には、様々な資料を基に鮭鱒の生態などの学習ができるように検討しています。



6、秋の収穫感謝について 9月27日~10月1日

秋の収穫感謝週間です。この間に、秋の畑収穫状況に合わせて様々な観察活動・調理活動を行います。詳しくは週案でお知らせしますので、ご確認下さい。



なお、10月1日は収穫した野菜他を使った、「収穫感謝昼食」をみんなで調理して食べる予定です。アレルギー他で食べられないものがある場合は、担任まで連絡して下さい。

7、バス、ハイエースの保育者添乗について 9月から保育者が添乗します

7月に添乗教師がない保育園バスで、園児を降ろし忘れて熱中症で死亡するという事故がありました。はまなす幼稚園も、保育者が運転手を兼務することで、必要時以外は保育者の添乗はしていませんでしたが、今回の事故を教訓とし、車中で園児が安全に過ごせるように、9月から保育者が送迎に添乗することとしましたので、お知らせいたします。



以上